

お元気ですか。JICA 日系社会シニアボランティアの小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

前回はすっかりブエノス アイレスの悪口を書いてしまいましたね。なので、今回は目いっぱいブエノス アイレスを褒めたいと思います。

ここブエノス アイレスでは、無料で(または学生なら無料で)入館できる美術館や文化財的建物がたくさんあります。その中でも特に印象的だったものを2つご紹介します。

### コロソ劇場

イタリア・ミラノのスカラ座、フランス・パリのオペラ座と並んで世界三大劇場とされているコロソ劇場は大変立派な建物です。毎日、この建物の前を歩いてスペイン語学校に通っているのですが、見るたびに、「私には無縁の世界。とてもこんな素晴らしい劇場には入れない」と思っていました。ところが、オーケストラのリハーサルを無料で見られるチケットがあると言うのです。もちろん、その話に乗らない手はありません。早速、朝 10 時に並んでチケットを入手しました。

当日、自由席しかないにも関わらず『我先に』ということもなく、それぞれ好きな席に『陣取って』、いえ『座って』、リハーサルの始まりを待ちました。リハーサルと言っても本番さながらの演奏でした。指揮者がマイクを取り楽曲の説明をしてくれるので、まだよく理解できないスペイン語にも関わらず、その曲への親しみが沸いてきました。演奏は言うまでもなく大変すばらしく、劇場の豪華さも相まって、最高のコンサートになりました。これだけの劇場でこれだけの音楽を無料で提供するアルゼンチンに、あらためて文化の層の深さを感じました。



## 国立美術館

国立美術館ですが、実は立ち寄る予定ではなく、ちょっとトイレを借りようと思って行きました(入館が無料だと知っていました)。しかし、いったん中に入ると素晴らしい作品を見ずに出るわけにはいきません。自然派の荘厳な油絵だけでなく、ロダンや、ピカソや、モジリアーニと言ったお馴染みの芸術家の作品が無防備とも言える状態で展示されているのです。タダでこんな大作をこんな近くで見られることに、本当に驚きです。芸術に対する懐の深さを感じずにはられませんでした。



約 1 カ月間のブエノスアイレス滞在でしたが、アルゼンチン特有のスペイン語にも、またアルゼンチンの人々にも慣れてきました。これから約 2 年間、ここアルゼンチンで日本語教師として活動するのが本当に楽しみでなりません。

### 追記：

ブエノスアイレスで、相川知子さんというステキな女性に出会いました。彼女のブログにはブエノスアイレスだけでなく、アルゼンチンの色々な情報が掲載されています。ご興味がある方はぜひ<主観的アルゼンチン>でご検索ください。

[http://blog.livedoor.jp/tomokoar/archives/cat\\_50041743.html](http://blog.livedoor.jp/tomokoar/archives/cat_50041743.html)